

■西消防署河北出張所（仮称）の整備を推進

河北地区では、現在、救急車の到着所要時間が平均で約11分（全国平均は8.6分）かかっています。救急車の到着所要時間を5分以上短縮させるため、平成31年10月の運用開始を目標に河北出張所（仮称）の整備を進めていきます。



平成24年に整備の東消防署橋出張所▶

■県内初！ 中学2年生のピロリ菌検査を無料化

健康都市を目指す当市では、昨年12月から、希望する中学2年生が無料でピロリ菌検査を受けられるようになりました。除菌が必要な場合には、保険診療対象外の除菌費用の7割（限度額16,000円）が助成されるようになりました。これらの助成制度の創設は、愛媛県内で初めてのことです。



ピロリ菌の感染検査▶

特集

ワクワク度日本一のまちづくり実現に向けて

——平成29年の助走から次なる飛躍へ——

市では、ワクワク度日本一のまちづくりの実現に向けて、平成29年もさまざまな取り組みを推進してきました。ここでは、それらの一部をご紹介します。

「住みたい西条」の実現に向けて

■スマートスクール・プラットフォーム実証事業などに採択

当市では、すでに小・中学校の全普通教室へ電子黒板を導入しており、普段の学校生活の中でデジタル教科書を用いた次世代の授業が行われています。昨年9月には、これらの取り組みが評価され、全国5地域の一つとして教育の情報化にかかる総務省・文部科学省のモデル事業に採択されました。



学校での先進的なICT活用を推進▶

■全小・中学校と公立幼稚園にエアコンの設置が決定

近年は、夏の猛暑に悩まされることが多くなりましたが、児童・生徒が良好な環境で学習活動を行うことができるよう、平成30年度から31年度にかけて、市内全ての小・中学校と公立幼稚園へのエアコン設置を進めていきます。



学習環境の改善を進めていきます▶

「市民主役の西条」の実現に向けて

■市民の意見を市政に反映させる仕組みづくりを推進

市民の皆さんの意見を聴く機会として、市内各地域で活動している自治会などのグループや団体の方を対象に「市長と井戸端会議」を開催しています。また、市民活動支援センターでは、若者会議・女性会議を試行するなど、市民の意見を市政に反映させる仕組みづくりを検討しています。



つながる女子カフェ参加者の皆さん▶

■地域自治のあり方について研究活動を推進

深刻化する地域の課題解決を図るため、市民が主体的に取り組み、自ら解決する「地域自治」の実現と「市民と行政との協働によるまちづくり」を推進しています。昨年8月には地域づくり講演会を開催し、その後、市民と一緒に「地域コミュニティのあり方研究会」を発足して研究活動を続けています。



研究会での活発な意見交換▶



6月 日台鉄道観光フォーラム



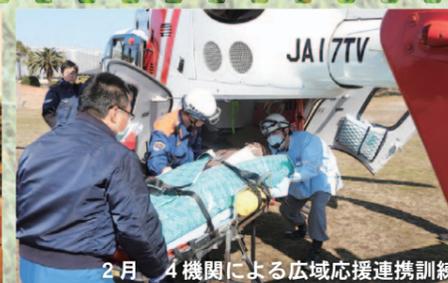
4～5月 ベトナム・フエ伝統工芸フェス



4月 椿交流館リニューアルオープン



3月 市民ミュージカル「ナザ」



2月 4機関による広域応援連携訓練

写真で振り返る平成29年

■(株)モンベルとの連携による地域活性化の推進

昨年9月に、国内有数のアウトドア用品メーカーである株式会社モンベルと包括的な連携協定を締結しました。有効な活性化策が必要となっている石鎚山ハイウェイオアシスについても、モンベル社と連携してリニューアル案の検討を進め「石鎚山系の玄関口」の実現を目指します。



株モンベルとの協定締結式▶

■セーボーデン市との都市間交流を推進

オーストリア共和国ケルンテン州セーボーデン市との交流が芽吹き始めようとしており、今後は教育、文化、芸術などの幅広い分野で都市間交流を深めていきます。また、2020年東京オリンピック事前合宿地として、オーストリア共和国スポーツクライミングチームの誘致を目指します。



セーボーデン市のクリナー市長(左)▶

「市民と進める行財政改革」の実現に向けて

■自治体シンクタンクを開設

政策課題を分析して効果的な成果を創出するため、昨年11月に中四国地方で初めてとなる自治体シンクタンク「西条市自治政策研究所」を開設しました。今後、連携先の大学や有識者の指導のもと、中長期的な視点から人口減少問題などの解消に向けた調査研究を進めていきます。



研究所の看板を掲げる玉井市長▶

■行財政改革の推進体制を整備

行政課題にスピード感を持った確かつ効果的に対応するため、昨年4月に大規模な組織改編を行いました。新設の「経営戦略部」内に、市長特命の調査研究や、戦略的なシニプロモーションを推進する部署を設置。7月には、総務省から副市長として出口岳人氏を招聘しました。



市議会定例会での出口副市長▶

「つながり広がる西条」の実現に向けて

■学校法人松山大学と包括的な連携協定を締結

昨年9月に、学校法人松山大学と地域課題の解決に向けた包括的な連携協力協定を締結しました。東予地方の市町では初めての締結となります。すでに協定を締結している愛媛大学とは、新商品の開発など、企業と共に具体的な成果につながる取り組みを展開しています。



松山大学との協定調印式▶

■石鎚山系のブランド価値創造に向けた連携協定を締結

西条市、久万高原町、高知県いの町、同県大川村の4自治体では、これまで石鎚山系に関する観光振興や安全対策などの取り組みを行ってきました。これに加え、さらなるブランド価値創造を目指し、昨年3月に4自治体で包括的連携協定を締結しました。



関係自治体による協定締結式▶

「夢が持てるまち西条」の実現に向けて

■スマートシティの取り組みを推進

各種の課題解決や、市民生活の質の向上を目指し、健康、子育て、高齢者見守り、デマンド交通など幅広い分野でICT（情報通信技術）活用の可能性を検討しています。

■新事業の起業家を誘致・育成

大都市圏からの新たな人の流れや、地域資源を生かした新事業を創出するため、チャレンジしたい人材を全国から公募・誘致し、3年以内での起業実現と定住を支援します。

■スポーツクライミング競技の施設整備などを推進

国内屈指の規模である石鎚クライミングパークSAIJOに、国内に数少ない「スピード」競技用の人工壁を整備します。今後、日本代表チームの合宿や大会誘致、海外強豪チームの合宿誘致などを通じて地域の活性化を目指します。



クライミングの一大拠点に▶



11月 鉄道歴史パークinSAIJO開館10周年



10月 愛顔つなぐえひめ大会



10月 星ヶ森が国名勝に指定



10月 愛顔つなぐえひめ国体



9月 伊予西条駅バリアフリー設備完成



9月 市道清水町1号線開通